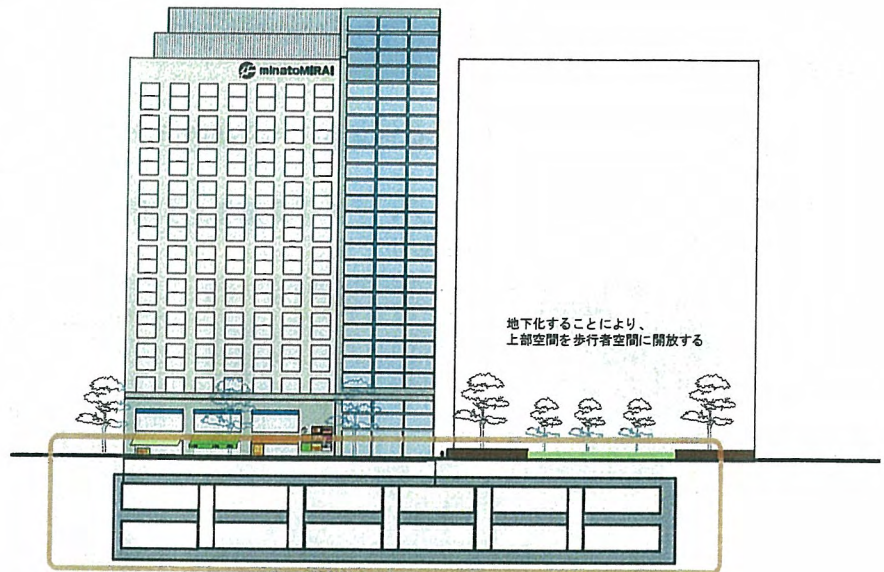


## 駐車場について

駐車場は、街の利用上不可欠のものである反面、配置やデザインによってはにぎわいの連続性や美観を損ねる要因となりかねないものです。

そのため、駐車場の配慮事項は、次のような性能をもった空間を確保することを意図しています。

- ・ にぎわいや景観の阻害要因とならないよう、目立ちにくい配置を工夫した駐車場。
- ・ 美観を意識したデザイン。
- ・ 歩行者動線との錯綜の回避。



## 行為指針1

駐車場を地上に設ける場合は、建築物と一体的な位置へ配置、デザインする。

- 通りの連続性を確保するために、通りに面する部分は出入り口など最小限としましょう。
- 駐車場を地上に設ける場合は、周辺の風格あるビルのデザインに調和するようデザイン水準の高い設計としましょう。



立体駐車場そのものを建物デザインに調和させた例（シカゴ）



通りの連続性に配慮して立体駐車場外壁をデザインした例（関内地区）

※駐車場出入り口の機械式ゲートにおいて、ゲートポールや色彩、チケット・料金ケースの色彩、日よけテントなどについても、外壁と調和した素材・色彩としましょう。

※地下駐車場の出入り口部の舗装仕上げを歩道と連続させながら、強度や注意喚起に関しても配慮が必要です。また、誘導サインのデザインも大きなポイントとなるので、街区全体のサインと調整しながら、建物デザインにあったサインデザインを心がけましょう。

※立体駐車場の場合、消防法などの関係から開放部の大きさや構造など、デザインの制約があります。

根拠法制度

景観形成基準  
(景観法)

行為指針  
(景観条例)

対象

外構部	建築設備類
建物低層部	その他工作物
建物中層部	広告物
建物高層部	その他



## 行為指針2

駐車場は、建築物の地下に設けるなど、青空駐車場の設置は避け、街並みの連続性を阻害しないようにする。

- 本地区では、青空駐車場の設置を原則禁止としています。やむを得ない場合であっても、街の連続性や美観を損ねないように、通りに対して目立ちにくくする修景や、コンクリート面の修景などの工夫が必要です。



駐車区画を緑化ブロックや中木、ブロック舗装で修景している例(浦安氏)



歩行者動線から見えにくいよう、植栽による修景を施している例(地区内)

## 行為指針3

駐車場の出入口又は自動車サービス路の出入口は、街並みの連続性を阻害しないよう、都市景観協議地区図に示す、国道1号、みなとみらい大通り、国際大通りなどの地区内主要幹線道路沿いを避ける。また、歩行者等の安全確保をしつつ、形態意匠についても街並みに配慮する。



地下駐車場の出入口を歩行者のメイン動線を避けた配置としている例(千代田区)



通りの連続性や緑の連続性をとぎれないように駐車場の出入口を設けた例(港区)

## 駐輪場について

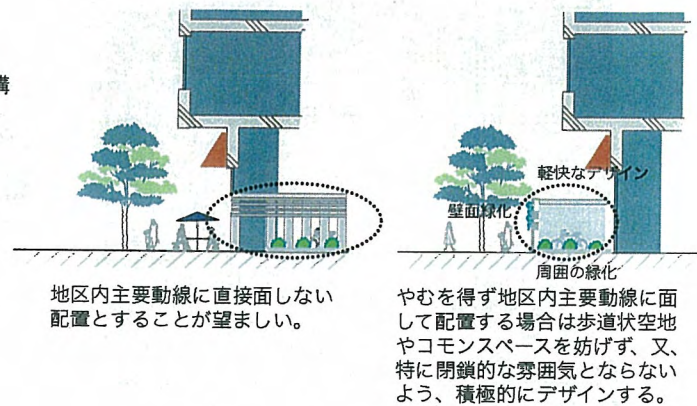
自転車利用による健康増進といった社会的な背景や、地区内での住宅供給の進行などから、本地区での駐輪場需要も急増しています。

一方でこれらを收容するための駐輪場は、駐車場と同様に配置・デザイン上の工夫が求められます。そのため、駐車場の配慮事項は、次のような性能をもった空間を確保することを意図しています。

- ・ にぎわいや景観の阻害要因とならないよう、目立ちにくい配置を工夫した駐車場。
- ・ 美観を意識したデザイン。

## □駐輪場の配置やデザインの考え方

建物内など目立ちにくい配置とするか、緑化や建築・外構デザインと調和したしつらえを工夫する。



## 行為指針1

駐輪場は、街並みの連続性を阻害しないため、駐輪場周辺の歩道、歩道状空地又は広場状空地から容易に自転車等を望めないよう、植栽や建築物等で遮蔽するなど、配置等を工夫する。

- 数十台以上の駐輪場では、街の風景としてとけ込むことは難しく、緑で隠したり、建物や工作物で囲うなどして、駐輪場の乱雑感をできるだけ打ち消すことが必要です。
- 建物内部に駐輪場を設けたり、工作物で囲う場合などは、建物デザインと一体的なものとしましょう。



施設の内部（1階・地下）に自走式と機械式を組み合わせ取り込んでいる例（新浦安駅前）



壁面緑化された駐輪場（千代田区）

※できるだけ緑などの潤い資源を組み合わせることで、無機質感を低減できます。

※ミニバイクや自動二輪車の駐輪についても、自転車同様にスペースや出入口部の工夫をしましょう。

根拠法制度

景観形成基準  
(景観法)

行為指針  
(景観条例)

対象

外構部	建築設備類
建物低層部	その他工作物
建物中層部	広告物
建物高層部	その他



建物と調和した工作物によって駐輪場を隠している例



1階を駐輪場として、修景壁で隠している例(横須賀市)



屋上緑化された駐輪場(石岡市)



緑と半透過性素材によって軽快に仕上げている駐輪場(渋谷区)



縦置きとして建物内の小スペースに設けられた駐輪場(ウィーン)

# 6

## 付属設備等

### 付属設備等について

見栄えを気にしない配置により露出した設備類は建築本体のデザインを損ねる要因となり、また冷たい印象や人工的な雰囲気、雑然さを助長する側面もあります。

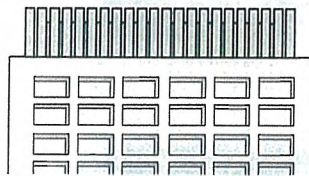
さらに、地区全体のスカイラインを特色として形成する本地区の景観においては、特に屋上設備の露出はマイナス面が非常に大きいと考えます。

本地区では風格ある景観形成を目指す上で、阻害要因となりにかねない付属設備等については、基本として必ず修景を施すこととします。

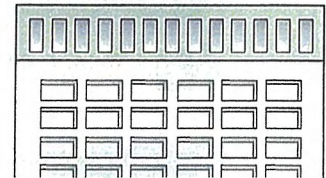
#### □屋上設備の場合の基本的な修景方法

ルーバーや建築壁面の立ちあげなどによって覆う方法があるが、露出することによる建築本体との違和感を解消するため、覆いの部分についても建築本体と一体のデザインであると感じられる素材や色彩とすることが望ましい。

ルーバーで覆う  
(特徴あるデザインを工夫する)



建物と同様の素材や  
デザインとする



特徴あるデザインの例(地区内)

### 行為指針1

商業施設や業務施設、共同住宅などのゴミ置き場、荷さばき場又は外階段等となる部分は、それらの位置や規模を工夫し、賑わいの連続性を阻害しない形態意匠とする。また、歩道、歩道状空地又は広場状空地から容易に望めないよう、植栽や建築物等で遮蔽するなど、配置等を工夫する。

- 駐車場の周囲は、防犯性を確保した上で車や無機質な路面が露出しないよう。低木や芝ブロック、緑化を施し修景しましょう。
- バックヤードは、搬出入車の円滑な動線を確保しながら、通りから直接見えにくい工夫をしましょう。
- 通り沿いにゴミ置き場や荷さばき施設がでてしまう場合は、それらのデザインは通りの連続性に配慮したものとしましょう。



透過性素材によって軽快に仕上げつつ、美しく見せる外階段のデザイン(地区内)



ガス設備等を建物と同様のデザインのオブジェやサイン内に組み込んでいる例(地区内)

外構部	建築設備類
建物低層部	その他工作物
建物中層部	広告物
建物高層部	その他



吸排気等を建物外壁と同様なガラスで修景した例(港区)

- ※ベランダの室外機等は、通りから見えない位置に配置する。
- ※設備機器等を隠すためのルーバーやパラペットは、建物外壁との調和に心がける。
- ※設備や非常用階段を屋外に設ける場合は、外壁と同系色とするなどなじませる。



バックヤード周りに緑化を施し潤いのある景観を創出している例(横須賀市)

## 行為指針2

建築物の高架水槽、装飾塔、建築物の屋上に設置する工作物等は、周囲から容易に臨めないよう、ルーバー等により遮蔽するなどして魅力ある眺望景観を形成する。

- 設備等をなじませたり生かすデザインとしては、外壁と同様な素材や色彩、意匠によってパラペットや設備類をデザインすることが必要です。
- 隠すデザインとしては、緑で隠したり、ルーバー等で目立たなくしたり、屋根の中に入れてする方法があります。
- 屋上部分を積極的にデザインして、建物デザインのポイントとする方法もあります。



塔屋を建物と一体的にデザイン(横須賀市)



上方からの見え方にも配慮した設備類の修景(港区)



機器をルーバーにより隠す方法(文京区)



積極的に外壁デザインと合わせたルーバー(千代田区)



建築要素としての積極的なデザインと夜間演出(港区)



屋根デザインにより設備類を隠す方法(ベルリン)

## 色彩について

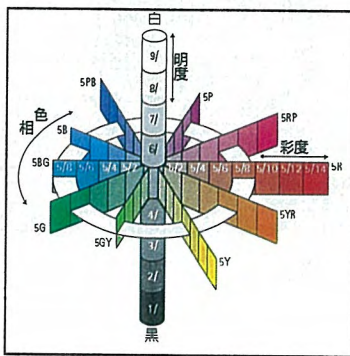
### 本地区の色彩の現況と基準について

本地区では、基調色に白やベージュ、ライトグレーなどの明るく穏やかな色彩を用いた建築物が数多く集積しています。

マンセル表色系では、このような色彩を、明度が高く（高明度色）、彩度が低い色（低彩度色）といます。本地区の建築物の多くは明度が7以上で、彩度が3以下です。このような色彩は、明るく開放的で軽快な印象を持ち、海辺に開かれた新しい街である本地区の雰囲気を手前に表現しています。

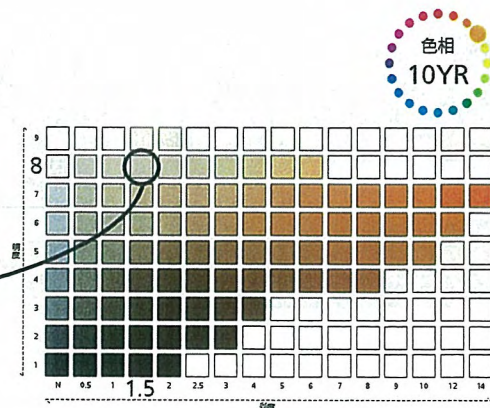
### 色彩のものさし = マンセル表色系

- ・ 私たちは一般に、特定の色を表現する際には「赤」や「青」などの色名を用います。
- ・ しかし、こうした表現方法では解釈に個人差が生じ、多くの人が共通の認識とルールをもつことが難しくなります。
- ・ このため、本ガイドラインでは、従来の色名による表記も一部に用いながら、データや色彩基準など精度が要求されるものについては、国際的な表色系であり、JIS規格などにも採用されている「マンセル表色系」を用い、より客観的に表記しています。
- ・ マンセル表色系では、「色相 (Hue)」、「明度 (Value)」、「彩度 (Chroma)」の3つの属性の組み合わせによってひとつの色を表します。
- ・ 色相は、色合いを示し、色名の頭文字をとったアルファベット記号と数字の組み合わせによって表します。赤 (R)・黄 (Y)・緑 (G)・青 (B)・紫 (P) などの基本色相があります。
- ・ 明度は、明るさを示し、0 から 10 の数値で示し、数値が大きくなるに従って明るさが増す仕組みになっています。
- ・ 彩度は、鮮やかさを数字で示し、数値が大きくなるに従って鮮やかさが増す仕組みになっています。無彩色の彩度は0であり、色味を増していくにしたがって数値も大きくなっていきます。各色相で最も鮮やかな色彩を示す最高彩度は色相によって異なり、JIS標準色票では、赤・黄系の最高彩度が14程度、青系の最高彩度が8から10程度です。



**10YR 8.0 / 1.5**

色相=色合い 明度=明るさ 彩度=鮮やかさ  
10ワイアール 8.0 の 1.5



根拠法制度

景観形成基準  
(景観法)

行為指針  
(景観条例)

対象

- 外観部
  - 建物低層部
  - 建物中層部
  - 建物高層部
- 建築影響部類
  - 其他工作物
  - 広告物
  - 其他

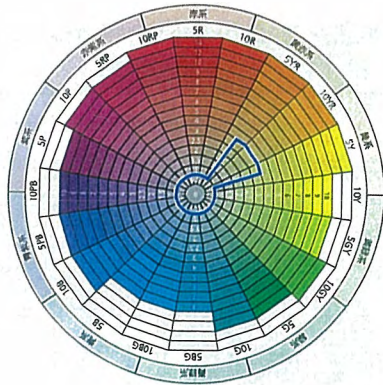


## 景観形成基準1

建築物の色彩は、蛍光色を用いず、かつ、マンセル表色系で別表1のものを基調とするものとする。ただし、周辺の景観及び建築物全体の形態意匠と調和していると市長が認めるものはこの限りでない。

別表1

色彩の制限		
色相	明度	彩度
5YR～5Yの場合	6以上9.5以下	3以下
その他の場合		0.5以下



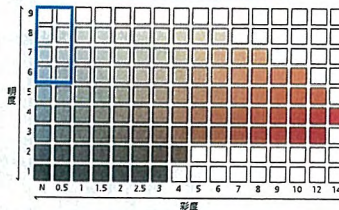
インターコンチネンタルホテル、  
国際横浜平和会議場 (N9.0)

横浜ランドマークタワー  
(10YR7.5/0.5)

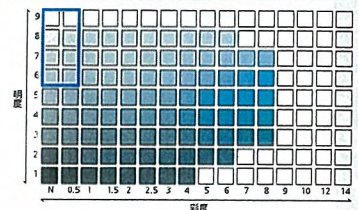
横浜美術館  
(10YR8.5/1.0)

三菱重工横浜ビル  
(10YR7.5/2.0)

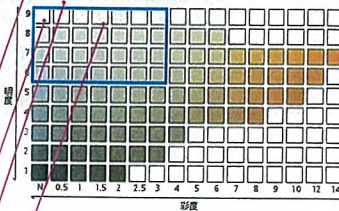
R(赤)系・0YR～4.9YR(黄赤)の色相



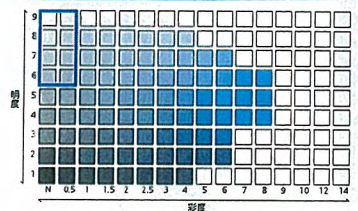
BG(青緑)系の色相



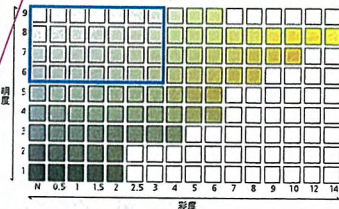
5YR～10YR(黄赤)系の色相



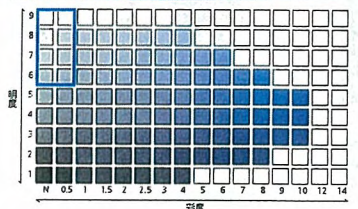
B(青)系の色相



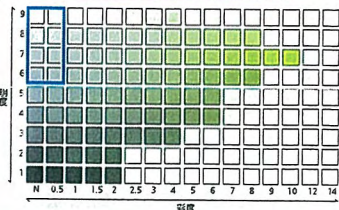
0.1Y～5Y(黄)系の色相



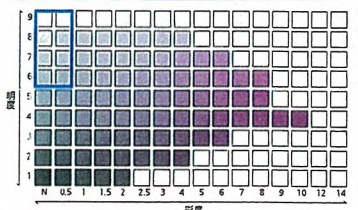
PB(青紫)系の色相



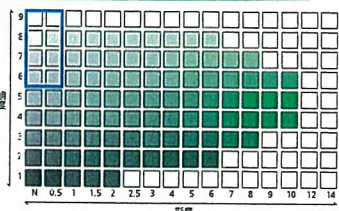
5.1Y(黄)系～GY(黄緑)系の色相



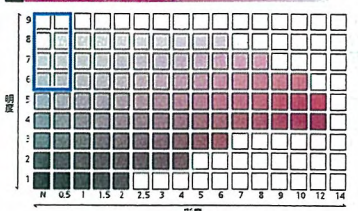
P(紫)系の色相



G(緑)系の色相



RP(赤紫)系の色相



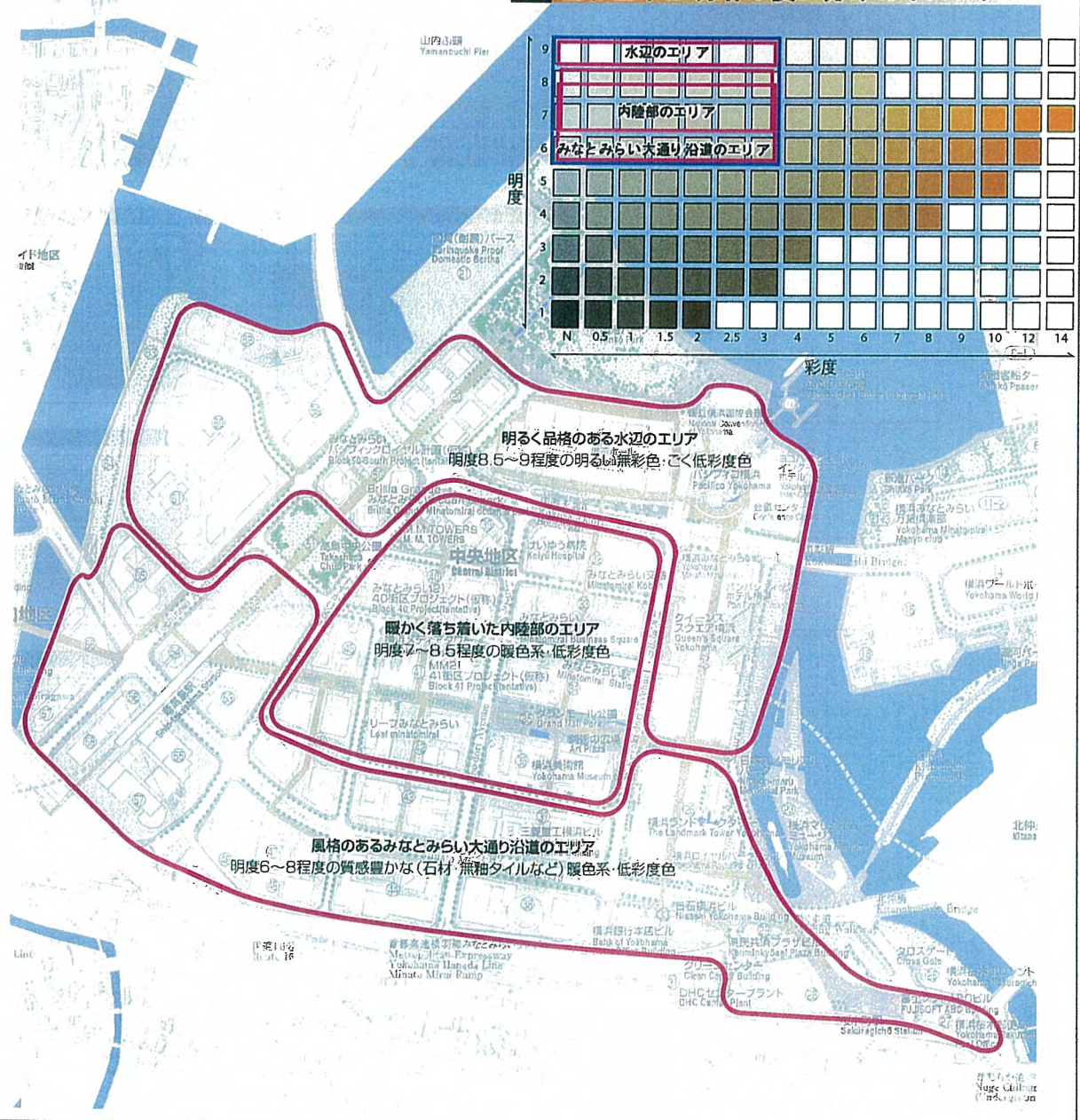
制限範囲内の色彩



建築物及び工作物の色彩計画にあたっては次の点に配慮する。(次図参照)

- 1) 海辺や運河沿いなど水辺に立地する大規模な建築物は、明るい低彩度色や無彩色を基調とし、対岸や海からの眺望において、開放的で品格のある景観を形成する。(明度8.5~9程度)
- 2) 内陸部の建築物は、全体として明るい印象を保ちながらも、やや明度を抑えた色彩を基本とし、明るさが際立つ海辺に対して、やや穏やかで親しみやすい景観を形成する。(明度8前後)
- 3) みなとみらい大通り沿道の建築物は、落ち着いた色調の石材やタイルなどを基調とし、風格のある景観を形成する。(明度6~8程度)

### 色彩基準と明暗の使い分けのイメージ



根拠法制度

景観形成基準  
(景観法)

行為指針  
(景観条例)

対象

外観部

建築影響種別

建物低層部

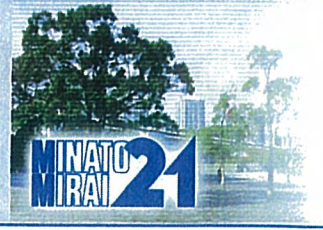
その他工作物

建物中層部

広告物

建物高層部

その他



ゾーンごとの色彩景観の考え方

### 1) 水辺のエリア

- ・ 海辺や運河沿いのエリアには、白いタイルを基調とした明るく開放的なデザインの建築物が連なり、海辺の街の存在感を際立たせています。
- ・ このエリアでは明度 8.5 ~ 9 程度の明るい無彩色や彩度 1 以下程度のごく低彩度色を基調とすることで、「明るく品格のある」水辺の連続性を保つことができます。



### 2) 内陸部のエリア

- ・ 内陸部のエリアでは、ライト ベージュやライト グレーなど、海辺のエリアに対してやや明度を抑えた建築物が立地しています。
- ・ このエリアでは、明度 8 前後の無彩色 (ライト グレー) や彩度 2 程度までの暖色 (ライト ベージュ) などを基調とすることで、水辺と大通り沿道の景観を緩やかにつなぐ [ 穏やかで親しみやすい ] 景観を創り出すことができます



### 3) みなとみらい大通り沿道のエリア

- ・ みなとみらい大通り沿道には、暫定施設も多くみられますが、ランドマークタワーをはじめ恒久施設の多くは外装の基調に石材やツヤを抑えたタイルなどを用いています。
- ・ このエリアでは、明度 6 ~ 8 程度の無彩色 (グレー) や彩度 3 程度までの暖色 (ベージュ) などを基調とし、石材を積極的に用いたり光沢を抑えた材料を用いることにより、近接する関内地区の街なみとも調和した [ 落ち着いた風格のある ] 景観を創り出すことができます。

